



Weekly Report

2012-2013 第5号

クラブ会長テーマ ロータリーを楽しもう 友達を増やそう 世界を平和に！

第2105回例会



▲朝顔 (団十郎種)

日 時 : 平成24年8月8日

会 場 : 例会場

司 会 : SAA

井上委員

開会点鐘

板倉会長

斉 唱 : ロータリーソング「我等の生業」

お客様の紹介

板倉会長

金子 幹広様 (東京立川 RC)

金 準永 君 (米山奨学生)

会長報告

板倉会長

●第18回多摩中グループ チャリティテニス大会
開催のご案内

日 時 10月8日 (祝) 12時30分集合

場 所 テニスランド国立

参加申込 伊東和美会員へ

●R財団委員会 第2回奨学・学友委員会の開催

出席者 村上R財団委員

日 時 8月21日 (火) 17時

場 所 成城クラブ

●第9回ロータリー財団研究会Ⅱのご案内

出席者 村上R財団委員

日 時 8月29日 (水) 15時

場 所 ハイアットリージェンシー東京

●青少年交換委員会サマーキャンプのご案内

出席者 吉野青少年交換委員

日 時 8月25日～27日

場 所 山中湖

幹事報告

山崎副幹事

●来週 8/15 (水) は規定休会でお休みです。事務局も13日(月)から17日(金)お休みです。ご用のある方は小澤谷守幹事へお願いします。

ニコニコBOX

石塚親睦活動委員

●金子幹広様(東京立川 RC) お世話になります。暑さの中、境内の緑と鶏にいやされました。

●津戸会員 今週の会報に36年前の私の卓話記事が掲っています。いささかはずかしい気持ちです。

●宗村会員 板倉会員の「むかし」のお話し楽しみに！

●内山会員 本日の卓話、板倉会長の話、楽しみに聞かせて頂きます。

ニコニコBOX 合計8,000円 累計 192,000円

出席報告

山崎出席委員長

8月8日 在籍46名中 出席32名

前々回(7月25日)の出席率 97.5%

閉会点鐘

板倉会長



R.I. 第2750地区 多摩中グループ
東京国立ロータリークラブ

会 長: 板倉 醇 幸 幹 事: 小澤 谷 守

例 会 日: 毎週水曜日 例 会 場: 谷保天満宮社務所2階東京都国立市谷保5209 TEL042-576-5123

事 務 所: 東京都国立市中1-9-36 KKビル4F TEL: 042-575-0770 FAX: 042-572-8666

E-mail: kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp

U R L: http://kunitachi-rc.com/

会報委員: 岡本貞雄 山口康雄 喜連元昭 莊原 健 齋藤博人

委員長就任挨拶

社会奉仕委員長

今年度のクラブテーマ「ロータリーを楽しもう、友達を増やそう、世界を平和に！」の楽しむためにも、例年行事に積極的に参加をして、皆さんの親睦を深めながら、社会に対して奉仕活動を行っていきたいと思っています。

事業計画としては、10月に環境フェスタくにたちが行われます。資源ごみの分別とかボランティア活動の啓発をして、リサイクル社会の啓発をしましょう。11月のくにたち秋の市民まつり、今年は参加団体が多い様で、より盛況になると思われます。内容は近々決めます。11月のクリーン多摩川（清掃活動の継続参加）。1月の塞の神どんど焼きは小澤崇文理事が実行委員長、私が事務局長となる予定ですので、皆様のご協力をお願いしたいと思っています。新小学一年生対象ランドセルカバーの配布。3月のクリーン多摩川。4月のさくらフェスティバルは例年好評なので、積極参加をして、より一層クラブ内の活気が出るよう考えています。

北島 正典



の「命」を命題としたポスター展を12月に開催の予定です。国立市第三中学校生徒と交換留学生・ロータックスとの交流会を2月8日に計画しております。

この2つの事業は、前石塚委員長が4年間に渡り形造られた事業で、今期も継続してやらせていただきたいと思っています。

ポスター展は、命の大切さを考えて、思いやりの心が醸し出されていけばいいなという事を、主眼としています。中学生と留学生の交流会は、中学生が同世代の外国から日本に来た人、日本から外国へ行って外国の生活を経験した人達と、じかに交わることによって文化の違い、風習の違い等を少しでも触れてもらって、違いを認め合って仲良く協力していく。最終的にはRI会長・板倉会長が掲げていらっしゃる「世界に平和を」に結びついていけばいいなと思っています。

目標と事業計画が少しでも近づけるよう頑張っていきます。かなり皆様方のお手をお借りする事になりますので、ご指導とご協力をお願いいたします。

国際奉仕委員長

委員の皆さん方は、長になられてもよい立派な方々です。方針は概況書をご覧ください。委員長をお引受けしてから、以前とは委員会の組織が変わってきていまして、事業計画をよく考えてみました。

社会奉仕・R財団・新世代委員会等と連携し、マッチング・グラントを使い事業化する。毎年、RI会長がテーマに水と識字率向上を掲げています、そこでケニアに水を確保するための深井戸掘りへの資金援助。また、国際的な大災害・テロ等が起きた時のために、卓上募金を隔月毎に行う事にしています。

津戸 最



米山奨学委員長

方針等は概況書の通りでございます。今年の基本方針としては、米山奨学制度の設立の目的と精神に、もう一度改めて振り返って、皆様のご協力をいただきたいという事でございます。目的と精神

というのは、日本は平和で国際協調でしか生きる道はない、そのためにはアジアから出来るだけ多くの留学生を迎え入れて、日本を理解していただいて、日本の平和、世界の平和につなげていこうという趣旨で設立されている訳でございます。

寄付が減っている傾向にあります。当クラブとしては、皆様の善意にすぎりながらやっと思いこうと思っています。奨学生の金君ともできるだけ交流をしてもらい、少しでも一般寄付をしてもらう気持ちになっていただければと思っています。10月の米山月間には金君の卓話もございます。それに合わせて若干、一般寄付のお願いをさせていただき予定でございます。もう少しで米山功労賞の方にもお願いしたいと思います。寄付金の税金控除制度も活用していただいて、ご協力の程をお願いいたします。

喜連 元昭



新世代委員長

委員の方々の中には、昨年度も新世代委員会に所属されていた方が多数います。心強く思っております。方針は概況書をご覧ください。

事業計画は、国立市内公立中学生

喜連 紘子



R財団委員長

伊東 和美

委員のお二人には、大変心強く思っています。方針として、ロータリー財団への理解を深め、板倉醇幸会長の掲げる目標を実行したいと思っております。R財団は、印象として、資金の流れ・資料が翻訳文で英語が入り解りづらいです。寄付金を払う委員会ではないのという印象をお持ちの方もいらっしゃると思います。勿論そうですが、皆様の小さな寄付が世界で大きな力を発揮する力となります。



事業計画ですが、Doing good in the world を同一歩調とするロータリー財団への支援の寄付をお願いします。寄付には3種類あります。年次寄付は1人100ドル寄付をお願いしています。ポリオ・プラス指定寄付、あと4カ国となっています。ベネファクター（恒久基金への寄付が1000ドルに達する寄付者）1クラブ1名以上となっています。

2012-13年度の重点目標として、当クラブでは毎年度ロータリー財団の年次寄付を100ドル徴収しているが、この制度を実行して今年度で9年になり合計で

900ドルに達する。今年度中にもう100ドルの寄付で合計1000ドルを達成することとなり、ポールハリスフェローの称号が与えられるので協力を求める。

2. ロータリー財団の恒久基金1000ドル以上を寄付するとベネファクターの称号が与えられるので協力を求める。3. ロータリー財団への寄付金は有効に地域社会で使うことのできる基金であることを念頭に、ロータリー財団の地区補助金(DSG)を利用する事業の開発を試みたい。ただし、地区補助金(DSG)の対象となる事業は人道的事業、環境保全事業で教育的事業や文化的事業には適用できない。4. ロータリー財団の寄付金は夢や希望をかなえる鍵となる基金であることを念頭に、マッチング・グラント(MG)を利用する事業の開発を試みたい。これは、資金や専門知識を提供するロータリークラブと提供される海外のロータリークラブが協力して実施する国際奉仕プロジェクトで、当クラブでは利用したことがないですが、これまで100ドル寄付をしてきた当クラブは、R財団のお金を利用する事ができます。現在、村上会長エレクトから利用する話が出ています。是非利用する方向で動いていただきたいと思っております。



戦争に負けるとは

私の1年後輩の女性歯科医師から聞いた終戦直後の話をします。1945年(昭和20年)8月15日日本は第二次世界大戦に敗れ終戦を迎えました。彼女は満州国・奉天(中国東北部)の大きな病院の院長の娘だったので、特に身の危険は感じませんでした。それはその中国東北部に医者や養育施設がなかったため、その医者を育てる教育機関設立の為に日本人の医者を必要としたからでした。6カ月ほど設立に協力し朝鮮半島を経由して日本に帰ることになりました。

貨物列車に乗せられ半島を南下、途中で多くの日本人が殺されその死体が沢山放置されているのを見たそうです。そしてこの貨物列車は少し大きな村や町で何回も止められ、その都度、同乗している若い女性を要求されました。沢山乗っていた女性たちの多くは自ら他の女性を救う為に志願して列車を降りていった“私が行きますと” 其人達は戦場で夫を失い、身寄りもなく、生きる希望を失った人達だったとゆう。その後輩は涙ながらに、だから私は戦争は絶対に反対、いやだといって口を閉ざした。そんな



板倉醇幸会長

悲しい現場をみていた少女は小学校1年生だったはず。私は自ら志願して列車を降りていった若い女性たちが、その後どうなったかを聞く勇氣は有りませんでした。漠然と殺されてしまったのだろうとは思いましたが。

本日終戦特集で何か話すようにといわれ、こんな事実もあつたことをお話ししておくべきだと思いました。私も75歳になります。P.C.に終戦直後の日本と打ってみました。グーグルです。こんな記事が出てきました。

太平洋戦争後、朝鮮半島から日本人が日本に引きあげるとき、現地の人達により大量に虐殺され、多くの女性がレイプされ、強姦犯の子供を宿した。

福岡県の二日市保養所は、レイプ被害に遭った日本人女性に墮胎手術や性病の治療を行った。当時墮胎は違法行為だったが、厚生省は超法規的措置として黙認した。その病院だけでも数百人の女性が麻酔なしで墮胎手術を受けた。とありました。私の後輩歯科医から聞いた話は本当のようです。合掌

卓 話

■人間の生と死

宗像 教親



生あるところに必ず死がある。私は“生と死”ということを次の様に考えている。即ち、人間幼少の頃は死に対しては無関心、要するに死の恐怖というものはないものだ。私も然りだった。

身体強健だった私が、自動車連隊の軍医として戦争にかり出され、何度か病気をしたり入院したりしていた頃は、「こんなところでは死にたくない、なんとかして生きたい」という生への執着が極めて強い時期であった。終戦後の一時期、正直言っていつ死んでも平気だと思える時代があった。ところが子供も成人し、老境とも言える年代になった今日、「無性に死にたくない。まだまだやりたいことがたくさんある。もっともっと生きたい」と思うのである。

特に私は医師という職業柄もあって、自分が死ぬ時は自分でわかることだと思うので尚更恐怖感が強い。この様に、生と死に対する考え方が、人間の一生のうちに変化するのは私だけではあるまい。人間は一生の間に何回か“ふるい”にかけられるのではなからうか？

第1回目の“ふるい”は45歳～47歳のところでやってくる。47歳から60歳位迄は比較的死ぬ人が少ない。そして60歳代に又“ふるい”にかけられる。70歳前後は意外と死んでいない。というのは、私の仲間の例だが、2～3年前はよく友人の訃報を受けさびしい思いをしたものだが、ここ1年ばかり、70歳前後の

我々の仲間は1人も死んでいない。そして75歳を越すと又多くなる。その次は大往生ということだろう。

より長く、より健康的に生きる為に、私が実行している健康管理のポイントについてふれてみよう。

●心臓、腎臓、肝臓の三大臓器に充分気をつけること。

- (1) 朝起きて、大きくノビをする時、両手を力強く数回シッカリ、パッチリとニギリ締めること
(心臓の流れの良否を知ることができる)
- (2) 年をとったらあまり塩分をとらないこと(私は何でも食べるが、塩は1日20グラム以内に控えている)
- (3) 脂っこいものを控えよ、という人もいるが、私は脂っこいものでも良く食べる。

人間の栄養の3元素であるたんぱく質、脂肪、炭水物はバランスよくとらなければならない。但し、夕食は量を少なくすること。

●楽天家になること。

- (1) 今日の苦勞を翌日に残さない様にする。皆さん、自分なりの健康法をつかんで、実行して精々長生きをしようではありませんか！

故・宗像 教親氏 (宗像産婦人科医院・院長)

1975～1998 在籍 第11代会長

1978-79年度 (久保年度) 週報NO.26より転載



競技別リハーサル大会
重量挙げの三宅選手と
八木選手も出場か

岡本 貞雄

来年10月、東京国体(スポーツ祭東京2013)が開催され、くにたち総合体育館ではウエイトリフティング競技が行われます。

それに先立ち、今年の10月にはプレ国体(競技別リハーサル大会)が開催されます。プレ国体とはいえ、全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会と、全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会(男子)なので、全国からアスリートたちが出場します。

ロンドン五輪の重量挙げ、女子48キロ級で銀メダル獲得した三宅宏実選手や、笑顔で人氣の53キロ級の八木かなえ選手も出場の可能性があり、街の話題になりそうです。

ウエイトリフティング競技は、バーベルを一気に引き上げる「スナッチ」と、バーベルを一度肩まで引き上げて(クリーン)、全身の反動を使って一挙動で頭上へ差し上げる(ジャーク)「クリーン&ジャーク」の合計点で競うものです。

かつて三宅義信氏がローマ五輪で銀メダル、東京五輪とメキシコ五輪で金メダル、弟の義行氏がメキシコ五輪で銅メダルを獲得しました。義行氏を父に持つ宏実選手が、再び重量挙げの人氣を引き上げてくれました。

●競技は10月21日(木)から25日(日)まで。